

果樹の生育調節剤

現在、果樹園芸での生育調節剤の利用は非常に多方面にわたっていて、あるものは必要不可欠となっているものもある。すなわち、薬剤摘果を始めとし、着花の促進、実止まりの確保、枝の伸長の抑制による樹体のわい化と結果樹令の短縮、耐寒性の増強、発芽期・開花期の変更などによる災害の軽減、種子無ぶどうの作成、熟期の促進あるいは遅延、着色促進および改善、銹果発生防止、糖分集積あるいは貯蔵力の増大等々による商品価値の向上、果実の肥大増進、落果防止による収量の確保向上、収穫（特に機械収穫）省力化のための落果、落葉促進、等々のため、各種の生育調節剤が用いられて効果を上げており、またはその利用のための開発が企図されている。しかし、現在各国で用いられている主なものとしては、NAA、NAD、各種ジベレリン、TIBA、Bナイン、CCC、エスレル、BA、デナポン、キャプタン、ある種のシリコン化合物、珪酸および石灰化合物等であるが、このほか若干の新しいものゝ開発も企図されている。しかしながら、最近、農薬規制がきびしくなったため、これらのうちにもすでに使用できなくなったもの（NAAなど）もあり、新薬の開発には多額の費用が必要となったため、開発が専らメーカーによって行われて行なわれている現状では、その作用が概ねスペシフィックで、需要量の少ない果樹用の新薬の開発の将来には、多くの期待がもてないようと思われる。今後新しい調節剤（防除薬剤をも含めて）の開発を従来通りメーカーまかせにしておいてよいか否かを検討すべき問題のように思われるが、どうであろうか。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 森 英男〕
 全国農業協同組合連合会総合企画部技術参事

目 次

（第11巻第8号）

水田除草体系の考え方……………	2
＜宮城県古川農業試験場 高橋周寿＞	
は じ め に……………	2
1. 栽培法の変化と雑草防除上の 問題点……………	2
2. 稲わら鋤込み面積の増加と問題点…	4
3. 水田主要雑草の発消長……………	7
4. 除草法の変遷と現状……………	8
む す び……………	11
中国・四国地域における麦作の雑草 防除について……………11	
＜愛媛県農業試験場 宮内直利＞	
1. 地域の背景……………	12
2. 主要雑草の発生状況……………	12
3. 除草法の実態と問題点……………	13
4. 麦作の新しい除草剤……………	14
5. 麦作除草剤の庭先混合……………	15
6. 麦作今後の雑草防除……………	19
ゴルフ場における芝草の管理……………	19
＜程ヶ谷カントリー倶楽部 角田三郎＞	
I. ゴルフ場の芝草管理……………	19
II. フェアウェーおよびラフにお ける雑草防除……………	28
昭和51年度冬作関係除草剤・生育調 節剤試験成績概要……………	30
外国文献抄録……………	33
植調協会だより……………	35